

ひびき hibiki

取手市議会だより第201号
2013(平成25)年5月15日発行

<紙面から>

取手市議会は、2月7日に平成25年第1回臨時会を開催しました。臨時会では、取手駅西口自転車駐車場の新築工事請負契約案件について審議しました。

また、2月28日から3月22日まで第1回定例会を開催しました。定例会では、平成25年度の予算案が市長から提出され、一般会計予算については予算審査特別委員会を設置し、審議を行いました。

発行責任者／取手市議会議長 倉持光男
発行／取手市議会 編集／取手市議会事務局
〒302-8585 茨城県取手市寺田5139
電話番号 0297-74-2141(内線1801・1802)
ファクス 0297-74-1990
ホームページアドレス <http://www.city.toride.ibaraki.jp/>
e-mailアドレス gikai@city.toride.ibaraki.jp

平成25年度予算を可決しました

●平成25年度一般会計予算
：可決

〔予算審査特別委員会の構成〕

委員長 金澤克仁

副委員長 山野井 隆

委員 加増充子・佐藤

清・阿部洋子・入江洋一

吉田 宏・染谷和博・飯島

悠介・石井めぐみ・関戸

勇・池田 慈

〔本会議での討論〕

関戸議員：ぬくもり医療助

成は出遅れた感が否めず、

また商工費予算は全体の

1%。本当に商工業の再生・

活性化に取り組む姿勢があ

るのか疑問。反対。

池田議員：ぬくもり医療支

援事業の拡大、公園・通学

路・民有地の本格的除染、

学校図書館司書の増員、農

産物直売所設置の補助金を

大いに評価したい。賛成。

石井議員：フェイスブック

を活用し取手ブランドを全

国に発信。市内事業者の異

業種間交流を促す取り組み

も行われる。未来への投資

が重要。賛成。

飯島議員：ウエルネス施策

推進支援業務、子育て事業、

雇用創出事業、公共プール

を活用した中学校水泳学習

推進事業などの取り組みに

期待が感じられる。賛成。

小嶋議員：取手東口城根線

の道路整備で、地籍調査終

了前に測量設計に着手する

ことを大いに評価。農産物

直売所の設置は農家にとつ

平成25年度一般会計及び特別会計予算の一覧

会計名	歳入歳出総額	歳出の主なもの
一 般	340億 3,000万円	・放射能対策 ・ぬくもり医療支援の拡充 ・高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成 ・雨水排水対策 ・小中学校・公共施設の耐震化 ・災害時備品の整備 ・農産物の販路拡大
取手駅西口都市整備事業特別	19億 6,857万円	・取手駅北土地地区画整理事業 ・取手駅歩行者デッキ、自転車駐車場工事費
用地先行取得事業特別	1億 7,753万円	・文化芸術施設整備、取手駅東口多目的広場事業に係る債務の償還金
国民健康保険事業特別	120億 8,541万円	・保険給付費 ・後期高齢者支援金 ・介護納付金
後期高齢者医療特別	18億 3,256万円	・後期高齢者医療広域連合への納付金 ・後期高齢者健診委託料 ・人間ドック検診助成金
介護保険特別	64億 4,579万円	・居宅介護サービス給付費 ・施設介護サービス給付費 ・介護支援ボランティア事業
介護サービス特別	1,703万円	・ケアプラン作成委託料
競輪事業特別	15億 4,957万円	・競輪事務経費 ・場外車券発売経費 ・一般会計繰出金
公平委員会特別	76万円	・公平委員会事務経費 ・公平委員報酬

てもうれしい事業。賛成。
染谷議員：農産物直売所建設、買い物弱者支援、ぬくもり医療支援、肺炎球菌ワクチン助成などバランスがとれている。放課後子どもクラブ室新築工事など、子育て支援にも積極的。賛成。
入江議員：小中学校の耐震補強を前倒しで実施。子育て支援策で保護者の経済的な負担の軽減につながる事業にも着手している。賛成。

お知らせ

5月18日(土曜日)
議会報告会を
開催します!!
←詳しくは5ページをごらんください

25年度特別会計予算

●取手駅西口都市整備事業特別会計予算：可決

〔討論〕

結城議員：駅東西自由通路の予算が前年度予算とほぼ同額。ウエルネスプラザ、自転車駐車場、歩行者デッキに比べて本気度が感じられない。反対。

染谷議員：ウエルネスプラザ整備推進により駅周辺の開発が進む。市民の意見、議会の意見を取り入れ、よりよいプラザを推進していくことを願って、賛成。

池田議員：歩行者デッキは、1階部分の店を素通りしてしまい、にぎわいにつながらない。また機械式自転車駐車場を2基も設置する必要はない。反対。

吉田議員：茨城の玄関口、取手の顔づくりになくならない予算。賛成。



ウェルネスプラザ建設予定のB街区

加増議員：駅西口に税金を集中投下するよりも、市民の身近な生活基盤の整備こそ優先されるべき。反対。

●用地先行取得事業特別会計：可決

〔討論〕

加増議員：B街区は文化芸術施設用地として購入したが、変更手続なしで目的をウエルネスプラザ建設用地に変更。ウエルネスプラザ建設ありきで強行する市の姿勢に批判は広がるばかり。反対。

●国民健康保険事業特別会計予算：可決

〔討論〕

遠山議員：払いたくても払い切れない国保税となっている。だれもが支払える国保税にすれば、滞納もなく

なり、持続可能な国保財政への道が開かれる。反対。

●後期高齢者医療特別会計予算：可決

〔討論〕

遠山議員：75歳になると国保や健保から切り離す差別制度と批判される中、導入された。払えない高齢者からは保険証を取り上げる。安心して医療を受けられる制度になっていない。反対。

●介護保険特別会計予算

●介護サービス特別会計予算：いずれも可決

〔討論〕

齋藤議員：介護支援ボランティア事業が盛り込まれた。互いに支え合う高齢化社会のために有意義。今後は成年後見制度の周知と、市民後見人養成に力を。賛成。

遠山議員：介護職員の処遇の改善につながるような内容は、予算に反映されていない。地域包括支援センターの増設などの取り組みが必要。反対。

●競輪事業特別会計予算：可決

〔討論〕

加増議員：わずかな収益よりも有形無形の弊害が大きいことを考慮すべき。競輪事業の計画的廃止、施設の転用を考え、きちんと県に求めるべき。反対。

25年度予算以外の市長提出議案

●(仮称)取手駅西口自転車駐車場新築工事請負契約の締結：可決

(臨時会で審議)

契約の相手方	浅沼・赤塚特定建設工事共同企業体
契約金額	5億2,594万5,000円
契約方法	一般競争入札
施設概要	鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造 1,457㎡(地上3階・地下1階建) 自転車・原付合計867台収用
工事場所	取手駅北土地区画整理事業地内C街区
工事期間	平成26年3月14日まで

〔討論〕

加増議員：ゼネコンの受注価格つり上げ要求に応じるためのセレモニーであると受け止めざるを得ない。市民の信頼を失い、無駄遣いを重ねるもの。反対。

小嶋議員：(予定価格100%で落札されたことについて)入札参加3者のうち1者しか数字を書かなかったが、辞退者は予定価格が事前公表だからそれ以上の札を入れられなかったとい

うこと。最も安い金額が今回の札だと言える。設計どおりの素晴らしい建物になることを祈念して、賛成。

関戸議員：(不調に終わった)前回と同じ業者が3者入札に参加して2者が辞退。連続して同じ事態。これではまるで一般競争入札実施要綱の第11条(※)を満たすために参加しただけではないか。反対。

※「入札参加者が2者に満たない場合は、入札の執行を中止するものとする。」と定めた条文。

池田議員：市は前回と今回の入札が別件であると言っているが、設計図書の不十分な部分の訂正である。よって、同じ入札と考え、契約規則第17条第3項(※)により入札は無効。反対。

※「再度の公告による一般競争入札には、前回までの一般競争入札に参加した者は参加することができない。」と定めた条文。

結城議員：競争性が確保されているのか疑問。規則違反ではないかもしれないが、おかしいと思われること自体が不名誉。また、機械式駐車場は市の財政の身の丈に合っていない。反対。

●職員の給与に関する条例の一部改正条例：可決

〔主な改正の内容〕

・地域手当を3%から上限6%に変更(25年度は4%に引き上げ、それ以降は規則で6%を超えない範囲で定める)

・56歳以上の職員について昇給停止(勤務成績が優秀以上の者を除く)

〔討論〕

関戸議員：人事院の制度では取手市の地域手当の最終目標は15%。不十分だが当面6%の内容に賛成。しかし、「特に優秀な者」と「優秀な者」以外は昇給停止という制度は地方公務員になじまない。反対。

齋藤議員：市はこれまで人件費の抑制に積極的に取り組み、改革の努力は一定の効果を生み出したと評価する。頑張っしてほしい。賛成。

●職員等の旅費の特例に関する条例の一部改正条例：可決

職員の旅費を支給しない特例期間を2年間延長し、平成27年3月31日までとするもの。

〔討論〕

関戸議員：支給停止期間を再び延長するもの。度重なる延長で制度そのものがなくなってしまう。期間が来たらいったん元に戻し、職員組合と協議すべき。反対。



耐震改修工事が予定される福祉会館

●国の震災復興予備費・交付金を活用した小中学校・福祉会館の耐震化の前倒し実施／茨城消防救急無線・指令センター共同整備負担／除染面積減による放射能対策経費の減

●平成24年度一般会計補正予算(第9号)：可決
・補正予算額：3億7702万円の減

池田議員：国からの地域の元気臨時交付金等を小中学校耐震に前倒しで活用している点がいい。また下高井近隣公園整備で、市が支払うべき公共施設管理者負担金が1億800万円減になったのは、市の努力によるものだと聞いている。賛成。
齋藤議員：3・11を経験した私たちにあって、防災、減災、人を守る環境の整備は何よりも優先されるべき。今後も市民全体の生命の安全と利益を優先した事業の展開を期待して賛成。

●平成24年度一般会計補正予算(第10号)：可決
・補正予算額：9億4568万9000円の増

・歳入の内容：震災復興特別交付税

・歳出の内容：常総地方広域市町村圏事務組合負担金及び財政調整基金積立金

〔討論〕

遠山議員：地方財政の負担軽減につながるもの。賛成。

●平成24年度取手駅西口都市整備事業特別会計補正予算(第4号)：可決

・補正予算額：1億199万9000円の増

・歳入の内容：国庫支出金、市債及び県支出金の増。一般会計繰入金の減

・歳出の内容：土地区画整理事業経費の増。歩行者デッキ、ウエルネスプラザ整備事業経費の減

〔討論〕

鈴木議員：住民合意のない自転車駐車場、歩行者デッキ、ウエルネスプラザは建設すべきではない。また、補正の増額の繰り返しは、単一予算主義の原則、予算

事前議決の原則を逸脱し、市政運営のずさんさを反映するもの。反対。

池田議員：取手駅前の区画整理が本格的に進む予算。区画整理が進み、駅前ロータリーが広く整備されることを望む。賛成。

●茨城消防救急無線・指令センター運営協議会の設置：可決
茨城県内の他市町、一部事務組合とともに協議会を設置し、同協議会で消防救急無線の運営、出動指令等の消防指令事務等を行うため、議会の議決を求めるもの。

〔討論〕
・協議会事務所の場所：水戸市役所内原庁舎内
・協議会の委員：構成団体の市町の長等

〔討論〕
関戸議員：仮に東海原発の事故で30キロ圏内が避難となった場合、圏内にある指令センターはどこに行くのか。通信施設が大きな被害を受けた際の対応はできているのか。通報を指令センターが地元消防署に指令することは二重になるので疑問。今でも少ない消防署員をセンターに常時3名派遣することで市の消防として問題はないのか。反対。

落合議員：高度で複雑化する消防救急サービス需要への対応。近隣市町村との迅速かつ広域応援体制が強化され、共同運営により経費の削減にもつながる。システム切り替えの際の懸念に

対して、GPSシステムの向上、職員研修もしっかり行っていくとのこと。市民の生命・財産をより強力に守るもの。賛成。

●ぬくもり医療支援事業に関する条例の一部改正条例：可決
子育て支援を目的とした市の子ども医療費助成制度の対象者を拡大するもの。

〔討論〕
池田議員：取手市では県の補助制度に外れた未就学児童に対して市独自の補助をしてきたが、今回、対象範囲を小学校6年生まで拡大。所得制限はない。子育て世代にうれしい事業。賛成。

阿部議員：乳幼児の医療費助成制度は、各自自治体の判断で実施される地方分権の象徴。今回小6までの拡充にとどめたからには、子どもの医療へのアクセス平等を実現する市の創意工夫ある取り組みを望む。賛成。

加増議員：中学生までの医療費無料化は、あと3500万円あればできることが示された。今回の改正は小学生を持つ家庭にとって歓迎されることだが、取手が安心して子育てができる町になるために、中学生までの無料化を願う。賛成。

〔通院費用の助成対象が広がります〕
小学校入学前の乳幼児のみ
←
小学校6年生まで
※10月1日以降の診療分より適用されます。
※「マル福制度」適用者は除きます。

●指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例：可決
地域主権改革一括法による介護保険法の改正に伴い、これまで厚生労働省令で定められていた基準を市の条例で定めるもの。

〔討論〕
染谷議員：厚生労働省は、可能な限り住みなれた生活の場において、必要な医療、介護サービスが受けられる社会を目指す。市でもパート勤務等をするため、訪問介護の要望が増えている。今後、需要が増える訪問介護に対応してほしい。賛成。

〔討論〕
結城議員：中小企業にとって歓迎すべき改正。事業を始め、軌道に乗るまで、自分の貯金を食いつぶしてやっていると、使えなくなることを願って、賛成。

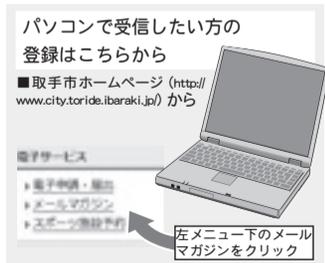
●中小企業事業資金融資あつ旋条例の一部改正条例：可決
自治金融における運転資金の保証金額の最高限度額を引き上げるとともに、振興金融・自治金融の運転資金の保証期間の最長限度を延長することにより、中小企業の金融の円滑化を図るもの。

〔討論〕
結城議員：中小企業にとって歓迎すべき改正。事業を始め、軌道に乗るまで、自分の貯金を食いつぶしてやっていると、使えなくなることを願って、賛成。

ちょっと見えて

議会事務局では、議会の日程や審議結果、一般質問通告内容などをお知らせする「ひびきメール」を配信しています。登録方法は次のとおりです。

- ・パソコンでの受信…取手市ホームページから
- ・携帯電話での受信…次のQRコードまたは取手市携帯(<http://www.city.toride.ibaraki.jp/mob/>) サイトから



また、ツイッターによる本会議・委員会・全員協議会開催などの市議会の予定や、議会に関する情報など議会情報の提供を行っています。

URLは http://twitter.jp/toride_gikai になります。また、携帯電話は、QRコードによりアクセスすることができます。

同意

諮問

法の定めにより、市長が特定の職に選任・推薦することについて議会の同意や意見を求めるものです。

●教育委員会委員の選任に関する同意（2件）…いづれも同意

3月31日で任期満了となる教育委員会委員について、左記の2名を引き続き選任するため、それぞれ議会の同意を求めるもの。

幸田隆男氏（68歳）…下萱

場 矢作 進氏（61歳）…小文

〔討論〕

関戸議員：市と教育委員会とは、市民の声を酌み取ることなく学校統廃合を強行した。そして、それに異議ありとして、6000名を超える署名で請願や陳情が出された。こうした事態を招いた責任が市と教育委員会にはあり、これを進めてきた両氏の再任に反対。

●監査委員の選任に関する同意：同意

4月21日で任期満了となる中山健幹氏に代わり、新たに片桐氏を監査委員に選任するため、議会の同意を求めるもの。

片桐弘勝氏（69歳）…西

〔討論〕

関戸議員：ウェルネス・タウン構想について住民監査請求が繰り返して行われていて、今、監査委員には極めて大きな責任がある。市長推薦に対して同意か否かを問われると、市政の現状に対する評価も考慮に入れざるを得ない。反対。

結城議員：市は行政経営改革プランを策定している。片桐氏は公認会計士であり企業の財務諸表の専門家。市が同プランを進める上でも適任。賛成。

●人権擁護委員（※）の推薦につき意見を求めることについて…適任と答申

人権擁護委員に成松氏を引き続き推薦するため、議会の意見を求めるもの。

成松文字子氏（63歳）…寺田

※人権擁護委員：人権思想の普及活動・人権擁護運動を行う市町村の非常勤職。市町村長が議会の意見を聞いた上で推薦を行い、法務大臣が委嘱する。

議員提出 議案

●市議会政務調査費（※）の交付に関する条例の一部改正条例：可決

地方自治法の改正に伴い条例を改正するもの。

〔提出者〕

小嶋議員ほか7名

〔主な改正点〕

①政務調査費の名称が政務活動費に変わります。

②充てることができる経費の項目に「要請・陳情活動費」が追加されました。

③適正な運用、使途の透明性の確保に努める議長の義務が明文化されました。

なお、この改正による交付金額の変更はありません。

※政務調査費：地方自治体がその議会の議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、議員又は会派に交付する金銭的給付。

平成24年の地方自治法改正により、使途に「その他の活動」が加えられ、名称も「政務活動費」に変更されました。取手市では、会派に対して、その会派に4月1日時点で所属する議員数に10万円を乗じた額を交付しています。

意見書

意見書とは、議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。可決された意見書は、その意見を処理することができる行政庁や国会に提出されます。

●中小企業の再生・活性化策の充実・強化を求める意見書：可決

①全国的な中小企業支援ネットワークの整備やきめ細かい経営支援体制の充実を図ること②地域の金融機関のコンサルティング能力及び支援体制を強化すること

〔提出者〕

齋藤議員ほか3名

〔討論〕

鈴木議員：昨年8月施行の中小企業経営力強化支援法の強化を求めるものだが、3月末打ち切りの金融円滑化法を当面延長することこ

そが必要。大事な金融円滑化法の打ち切りを前提としたものであり反対。

●TPP交渉参加の中止を求める意見書：否決

農業、医療、食の安全など広範な分野で地域経済と国民生活に打撃を与えるTPPの交渉参加中止を政府に求めるもの。

〔提出者〕

関戸議員ほか2名

〔討論〕

結城議員：TPPで最も問題なのは、情報があらかじめ公表されず、参加した場合でも、最低5年間は国民

に開示しないことである。賛成。

市村議員：みんなの党は可能な限り早くTPPの交渉に参加し、有利な条件を少しでも整えるべきと訴えている。守るべき国益をしっかりと守るべき。反対。

平議員：アメリカはアメリカにとつてもうけが出るシステムしか提案してこないと認識すべき。決して参加すべきでない。賛成。

遠山議員：農業生産基盤に壊滅的な打撃を与えるTPP交渉参加は、食料主権を保障しようとする世界の流れに逆行するもの。賛成。

放射能対策

復興庁に要望書を提出



浜田復興副大臣に提出

去る2月14日、復興大臣あてに原子力事故による子ども・被災者支援法に定める支援対象地域指定を求める要望書を提出しました。

要望書の中で取手市は、放射性物質汚染対処特別措置法の重点調査地域に指定され、学校や保育所など市内各施設の除染作業に取り

組んでおり、被災者の不安解消のためにも取手市を支援対象地域に指定し、施策を講ずるよう求めました。支援対象地域の指定については、市民から請願が出されており、昨年12月の定例会において、議会は意見書を可決し、政府に提出しています。

皆さんの希望です

請願・陳情

請願は、皆さんが国や県、市区町村に対し、一定の希望を述べるものです。憲法には、国民の基本的権利として請願権(第16条)が保障されています。陳情は、法で定められたものではありませんが、取手市議会では、請願と同様に審議しています。

請願

●生活保護基準の引き下げに反対し、意見書提出を求める請願書：不採択
生活保護基準を引き下げないこと、生活保護費は全額国庫負担とすることを求める意見書を政府に提出することを求めるもの。

〔紹介議員〕
加増議員

〔討論〕
池田議員：不正受給の問題を聞くと、つい保護費の引き下げに賛成したくなるが、問題の質が違う。本当に困っている人に生活保護がいくシステムづくりが必要。賛成。
加増議員：国の言いなりではなく、市民の暮らしを守るという地方自治の本旨に基づいた施策の充実を図ること。願意は極めて妥当なものである。賛成。

陳情

●取手西口駅前市道整備に関する陳情：採択
①バス停付近の歩道拡幅②西友正面入り口と地下道出入り口間の道路の傾斜の是正③歩道から公衆便所への進入路の傾斜の是正を求めるもの。

〔討論〕
齋藤議員：年齢を重ねても安心安全に過ごせる町は、私たち一人一人のため。多くの市民の理解を得るもの。賛成。

●バリアフリーに関する陳情：不採択
歩道内の車両通過箇所について、歩行者の進行方向に対して左右の傾斜をなくすこと等を求めるもの。(雨水排水用の傾斜を除く。)
〔討論〕
池田議員：歩行者にやさしい町にするための歩道の整備は必要。賛成。

追跡！！平成24年中に採択した請願・陳情のゆくえ

平成24年中に議会が採択し、市や教育委員会に対応を求めて送付した請願・陳情について以下の報告を受けました。なお、紙面の都合上、抜粋・要約しております。原文は市のホームページに掲載しておりますのでそちらもごらんください。

件名	処理状況	件名	処理状況
取手駅西口地区の活性化早期実現を求める請願	歩行者デッキ、自転車駐車場の整備及び(仮称)ウェルネスプラザの建築設計に着手した。活性化の早期実現を図っていく。	障害者の為のケアホーム設置に関する陳情	都市再生機構所有の団地をケアホームとして活用できるか協議を進め、現地視察を実施した。今後も関係機関と協議を進める。
市民の多様なニーズを満たす多目的ホールの建設を求める請願	今後、具体的設計を行うに当たり、請願内容を十分に反映させていく。	守谷市・取手市の図書館相互利用に関する協定についての陳情	守谷市では、守谷市民の図書館の利用への影響を考慮し、取手市との相互利用は行わないとの結論。今後も守谷市と協議していきたい。
取手市立小中学校に学校図書館司書を配置することを要望する請願	学校図書館の電算化に向けて、人員増を検討していく。平成25年度は1名増員し、図書館の環境整備を行っていく。	自転車通学損害賠償保険に関する陳情	・市内全ての学校において、自転車の乗り方等について指導を行い、保護者に対しては、PTA懇談会、説明会を実施した。また、中学生に対しては保険加入を勧める文書を配布した。 ・通勤自転車の損害保険の加入推進を市職員に周知するとともに、安全運転を励行するよう指導する。
教育予算の拡充を求める請願	国が教育予算を拡充し、きめ細やかな教育の実現のために少人数学級を推進することに賛同する。	議会図書室及び行政資料コーナーの整備充実と活用を求める陳情	・行政資料コーナーを、書棚による開架式に変更した。市役所内各課に資料提供の声かけをして、資料が充実された。 ・行政資料コーナーの設置場所については、利用しやすい場所になるよう検討する。
小文間小学校の統廃合に関する陳情	耐震診断の結果、施設として使用できない部分もあるため、どのように利活用を図るか方向性を示していく。	駅前窓口移転に関する陳情	現在地が最適であるとは考えていない。移転が必要な状況を迎えたときには、機能の拡充、複合化を含め検討していく。
「原発子ども・被災者支援法」に基づく具体的施策の早期実現を求める請願(一部採択)	・一定基準以上の放射線量の重点調査地域指定を行う予定との回答を復興庁より受けた。 ・同法で定める地域指定が24年度に行われるよう、茨城県に要望書を提出した。 ・健康調査は県単位での実施が適切であると考えている。		

開催！ 議会報告会 5月18日

市民の皆様には議会の審議内容や議決結果を報告するため、また、市民の皆様との意見交換の場を設けるため、議会報告会を開催します。

今年はより多くの市民の皆様にご参加いただけるよう、取手市役所議会棟と取手市役所藤代庁舎の2会場を設けております。

入場は無料で、どなたでも自由にご参加いただけます。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。



- 〔日時〕 平成25年5月18日(土曜日) 午前10時から12時まで
- 〔場所〕 ・取手会場…取手市役所議会棟(寺田5139)大会議室(2階)
・藤代会場…取手市役所藤代庁舎(藤代700)大会議室(1階)
- 〔内容〕 ・平成25年第1回定例会で行われた審議内容の報告
・市民の皆様との意見交換など
※議員は全員参加予定(各会場の参加議員名は欄外に記載しています↓)

茨城県後期高齢者医療 広域連合議会議員選挙

議員の任期満了に伴い選挙を行った結果、倉持議員が引き続き当選しました。なお、議員の任期は2年となります。

〔投票結果〕
倉持光男(当選) 20票
加増充子 5票

農業委員会委員 議会推薦者を決定

農業委員会の議会推薦による委員として、次の3名を市長に推薦することを投票で決定しました。

染谷 康勝氏(67) 貝塚
吹田 きみ子氏(63) 小泉
稲葉 利一氏(67) 寺田

取手会場…渡部、鈴木、飯島、川又、山野井、染谷、吉田、入江、結城、齋藤、平、佐藤(清)、加増
藤代会場…市村、落合、池田、関戸、石井、金澤、小嶋、佐藤(隆)、中村、阿部、赤羽、遠山、倉持

一般質問

議員は、市長などに対して、市の事務の状況や将来の方針などを質問することができます。

この質問を「市政に関する一般質問」といいます。今定例会では、21人の議員が一般質問をしました。その状況について、ご紹介いたします。

うそ・ごまかしを許さない

平 由子 議員

問 損害賠償（和解）の件が毎回議会に提出されている。税金でお金を払うのであれば、払う金額は血税だと考えるが、保険から下りるとなると市も痛みを感じない。事実関係の確認をきちんとしているのか。うそやごまかしはないか。
市長 でっち上げみたいなものは指摘のとおり。これについては、保険調査会社のプロのノウハウをもって交渉している。大切な血税なので注視していきたい。
問 原発事故の賠償問題で被害者が立証や、幾らだと請求を行うということ、疲弊していく。被害者はごまかされ、利するのは東電。放射能汚染の特性を鑑みて土地価格下落を認めず、原価のまま買い取らせる特別法を立法するべき。市は、自分たちがどれだけ損害をこうむり、それをどうするべきか優先順位を決める委員会をつくって、市民と話し合ってほしい。
まちづくり振興部長 内部で放射能対策委員会をつくり、常総4市と連携をとって対応している。これからこの体制で進んでいく。

学校での体罰を許すな！

染谷 和博 議員

問 国の調査では、体罰で処分される教師は毎年400人前後。高校バスケット部の事件は氷山の一角ではないか。事件への見解は。
教育長 学校教育法に体罰は加えることができないと書かれている。体罰を行うことで学校の信用を損ない、いじめや暴力の土壌を生んでしまう。体罰のない学校づくりを徹底したい。
市長 体罰は傷害罪に該当。そういうものは出してはならないと決意している。
問 体罰に訴えなければ指導できないのは教師の未熟さの証明。市の実態は。
教育長 各学校でアンケート調査をして、体罰の実態を把握している。現在、体罰の報告はない。
問 いじめと体罰の問題に今後どう対応していくのか。
学校緊急対応チーム等をつくり、通報ができるシステムをつくることを要望する。
答 教職員の人権意識を高め、子どもと信頼関係を築くための根気よく指導を行い、生き生きと生活できる、楽しく学べる授業づくりに努めたい。互いに認め合う人間関係をつくれる活動をしっかりやっていきたい。

茨城の玄関口・取手駅周辺整備を進めよう！

吉田 宏 議員

問 ウェルネスプラザ整備のスケジュールは。どうやって施設内を決めるのか。
都市整備部長 1月30日に設計業者と業務委託契約を締結。プラザ内の検討は市役所内部の「ウェルネスプラザ推進ワーキングチーム」と副市長・各部長の「検討会議」の2つの組織で進めている。5月ごろには施設内容を取りまとめたい。
問 駅西口区画整理事業のスケジュールは。
区画整理課長 25年度には西部地区の建物移転完了、概略設計を行い、地盤調査、造成計画等を行う。B街区も25年度に造成工事に入り、自転車駐車場の撤去、切土工事。新たな公園脇の道路整備を行い、26年度には整備完了。A街区は、治助坂に面した大きな建物の移転を進め整備していきたい。
問 取手警察所跡地の西口交番整備のスケジュールは。
都市整備部長 県は7、8月ごろに建物を完成させたとのこと。
総務部長 秋を目標にオープンする予定。なお、場所は未定だが東口にも引き続き交番は残すとのこと。

ジェネリック医薬品で医療費の適正化を！

齋藤 久代 議員

問 超高齢化社会を迎える市では、医療費の適正化は大きな課題。ジェネリック使用促進通知の先進市である呉市は、23年度で1億2000万円減の結果を得た。また、切り替え効果が高い対象者へ通知を出し、平成20年7月から24年3月までの統計で薬剤費3億7162万円の効果。市の実践効果や切り替え率を伺う。
健康福祉部長（ジェネリック医薬品に替えた場合の）差額通知を3回送った。1回目で18%の方が替え、合計3万7839円の軽減。普及のため新年度保険証の添書に積極的利用のお願いを特記。広報の1面に特集で掲載。国でも診療報酬改定で、ジェネリックを取り扱う医療機関へ点数の優遇等が始まっている。
問 呉市とは取り組みの濃さが違うと感じる。中身を改めていただきたい。
国保年金課長 取手は高血圧、糖尿病など引き続き薬を飲んでいかなければならない方が多い。情報提供をさらに進めていきたい。
※ジェネリック医薬品：後発医薬品。先発医薬品と比べて価格が安い。

S・N・Sで市の情報の発信を！

阿部 洋子 議員

問 岐阜県関市では200人の職員が市のブログ「関らら日記」編集を行い、効果として職員の意識変化、情報の共有化等、市のイメージアップにつながった。ゼロ予算で宣伝・誘客ができる、ブログ、SNS情報発信の計画は。
政策推進部長 第3次地域情報化推進計画にSNS利用等が入っている。前向きに検討していきたい。政策推進部次長 SNSは非常に使いやすいツールであるだけに、危険な部分もある。ルール等の環境を整えながら、組織体制を検討するのが一番の近道。
問 関市の「市民記者」の導入は、広報の中に市民の目線を取り入れる取り組みだが、今後の考えは。
答 広報モニターを毎年10名募集して、その意見を編集にフィードバックしたり、広報に掲載したりしている。市民目線で市を見ることは大切。検討したい。
※SNS：ソーシャル・ネットワークキングダム・サービス。人と人のつながりを促進するインターネット上の場やサービスのこと。フェイスブックなどが有名。

期日前投票の簡素化 市役所駐車場を安全に！

落合信太郎 議員

問 取手市の期日前投票において、受付後、宣誓書をプリントして、最低限の確認で投票できるということだが、高齢者から、自宅で宣誓書を記入し、投票所でスムーズに投票できないかという声をいただく。簡素化できないか。

選挙管理委員会書記長 現在、はがきで入場券を市民の方に送り、その入場券を確認した上で、宣誓書を書いていただく手続をしているが、はがきを封書型にして、入場券の裏側に宣誓書

をあらかじめ書く欄を設けることを検討中。次の参議院議員選挙で対応できればと研究している。

問 市役所駐車場の安全対策について。駐車場に入る



市役所駐車場入口

とき危険を感じるのレイアウト上の問題から。また、目の不自由な方から、点字ブロックの誘導に沿って歩くと横断歩道ではなく通りの激しい道路に出てしまうと指摘がある。どう認識しているのか。

建設部長 大変申し訳ない。点字ブロックを早急に補修する。

財政部長 ユニバーサルデザインの方に基づいた施設整備、まちづくりは重要。できるところから整備を図りたい。

白山西小学校の存続 デマンドバス導入

川又 貞男 議員

問 4月の入学生で、白山西小の学区から他の小学校へ入学するのは何名なのか。教育委員会で、白山西小は廃校になるから、ほかの学校に行ったほうがいいと話している者がいるといううわさがあるが、それが事実なら断じて許せない。

また、野田市では「少数教育の学校で学びませんか」と学区外から募集して、少数数の学校を盛り上げるということをやっている。なぜ取手市は少数数だから廃校にするなどということをやめるのか。

教育部長 白山西小の学区から他校に入学する児童数

は8名。野田市の福田第二小学校の例は、地勢的、位置的に他校と統合できないためであり、学校同士が隣接している地域にある白山西小については統合を進めたい。うわさについては、こんな言葉を言う教育委員会の職員は絶対にはいない。

農産物直売所への 市の対応

金澤 克仁 議員

問 25年度一般会計予算に農産物直売所補助金があるが、具体的な場所は。まちづくり振興部長 J A とうりで総合医療センター駐車場に接した所を予定。

問 オープン予定は。答 来年3月で考えている。

問 直売所はJ A茨城のみが主体になるが、市はどのようにかわるのか。答 みらいっ娘(つくばみらい市)もそうだったが、設置運営に関する委員会を設けている。委員会に野菜ソムリエや消費者の動向が分かる方も入っていたとき、運営にかかわっていく段階まで支援していけるように

考えている。

問 農産物直売所ができることを農家に対して、どのように説明をして、有効に利用していただくのか。農業委員会会長 進捗状況を確認し、地域の農業委員や農業委員会報などにより周知したい。

学校統合前に 通学路の安全確保を！

小嶋 吉浩 議員

問 吉田小通学路(青柳)について、車がすれ違うのもぎりぎりのため、この場所は車と子どもの接触が一番起きやすい。学校が統合すると、子どもが増えることが想像される。この道路は平成9年に拡幅計画があったが、この整備についてのどのように考えているか。

教育部長 指摘箇所は、昨年実施した通学路の緊急合同点検で学校から報告があった。点検後、警察の取り締まりやスクールガード、保護者に安全確保のご協力をいただいている。引き続き実施するとともにスクールゾーンに指定されていることの周知など学校側と協

働いている。



吉田小通学路(青柳)

議したい。さらに小学校の統合が控えているので、統合準備協議会等の意見も踏まえて対応したいと考えている。

建設部長 平成9年に測量はしたが、地権者の合意が得られず現在に至っている。通学路のため憂慮している。

市独自の取り組みを！ 放射能対策

関戸 勇 議員

問 放射能対策について、市の姿勢は、この程度なら大丈夫という立場か、それとも極めて重要な問題ととらえているのか。

まちづくり振興部長 分からない部分がある以上、注

意をもって見続けるのがしかるべき姿。国や県の連携を視野に入れて注意深く状況の推移を見つめる姿勢に変わりはない。

問 子どもを対象にした健康調査は必要であり、市独自の取り組みを行うのは意味のあること。ぜひ踏み込んでいただきたいと思うが。

健康福祉部長 何回も言っているが国が責任を持たないと仕方ない。引き続き、国に強く要望していきたい。

問 宅地内で局所的に線量が高い場所があるが、その対応は何か変わっているか。まちづくり振興部長 環境省が示す除染のメニューをどう活用するかというパターンを作って作業している。

問 除染後に線量が上がったところがある。対応は。答 周囲から水が集まる所は若干高くなる報告がある。改めて細かく調査をしていきたい。



宅地モデル地区の政策線量測定

ウエルネス・タウン構想と JR常磐線

結城 繁 議員

問 ウエルネス・タウン構想について、2011年7月以降、中止等を求める請願や陳情が繰り返し議会に提出。同年9月、ことし1月には監査請求が提出された。また、国の機関への請求もあつた。この事態をどう受け止めるか。

市長 毎回繰り返されることに深いため息をもって見ている。基本的な問題ないことで、議会も請願の不採択という意思表示をしている。また、監査委員も問題ない判断を既に示している。違法性の文章を読んでも、公有地売却について、工事の入札要綱に違反しているという当てはまらないものを適用して、ずれているという言い方をしている。

問 常磐線の東京駅乗り入れと大利根橋の架け替えについて。

都市整備部長 常磐線沿線の自治体と連携を図って、ホームの安全対策を踏まえ、要望活動をしている。

都市計画課長 新しい橋は、上り線はことし秋、下り線は来年秋までに運行させる。その後、古い橋は31年までに解体工事を終了させるということを聞いている。

子育てしやすい 環境を！

石井 めぐみ 議員

問 出産直後に子どもを連れて市役所に行くことがあつたが、授乳室はあるのか。子育て支援課長 区切つたものはないが、要望がある場合は部屋を用意している。

問 他の市を見ると授乳室やおむつ替えのスペースが個室である。若い世代を呼び込むためにも、市役所から変える必要があるのでは、部屋を設けていただきたいが、今後の計画は。

健康福祉部長 必要性は十分認識している。今後の課題としたい。

問 授乳室やおむつ替えができる場所等がわかる赤ちゃんマップを作れないか。

子育て支援課長 公共施設は把握しているが、民間施設の把握ができていない。情報収集に努めていきたい。

問 柏・我孫子・流山の広域にわたり発達の気になる子どもの子育て支援ガイドを作成している。市も近隣市町村と手を組んで支援していたらどうか。

健康福祉部長 公で作る場合、中身をどの辺まで入れるか制約がある。保護者の意見を聞き、本場に役立つものを作りたい気持ちはあるが、今すぐには難しい。

双葉団地の 交通と安全

市村 達明 議員

問 双葉団地の道路は、抜け道として利用され、通勤通学時における安全安心や交通の利便性を損なっている。また、バスもなくなり、団地が孤立する問題も抱えている。市の今後の対応は、どう考えているか。

都市整備部長 バスは利用者が増えない中で、正式に路線バス廃止の申し出があつた。自治会には説明し、回覧板等によるお知らせもお願いした。その中で25年度から双葉団地から佐貫駅までの市道を整備する話をした。

問 市道の整備についての安全対策、特に歩くことに対して特段の対応は考えているか。

建設部長 新川団地橋から堤橋の間、約240メートルについて、最初に歩道工事を実施する。25年度に詳細設計を行い、次年度以降に整備していきたい。

問 工事に合わせて安全対策を盛り込むことが、コスト面でも有効で、安全対策の一手にもなる。対応は考えないか。

答 カラー舗装は、通学路で実施している。順次実施したい考えは持っている。

どうする？ 公共施設管理

飯島 悠介 議員

問 行政経営改革プランで、公共施設マネジメント方針の策定があるが、内容は。政策推進部次長 プランの大きな柱で挙げている。方向性は、建物情報の一元化と台帳整備、修繕をどの程度できるかを策定したい。

問 我孫子市では、施設の保守点検を一括することに、よりコストの圧縮を図り、保全計画の策定も行っている。流山市では、学校施設の光熱水費を圧縮し、50%を環境教育に使う事業を行っている。こういった取り組みを実施してはどうか。

答 取り入れられるものを検討するのは当然と思う。

問 方針を実行する組織やP D C Aサイクル(※)は。大事。今後の取り組みは。

市長 プランを進めるに当たって、年度ごとに国から交付金等の事業が出る可能性がある。実際の運営管理は、財政と公共施設マネジメントの担当課と連携し、また民間の動きを見ながら検討することになる。

※P D C Aサイクル：P L A N (計画) ↓ D O (実行) ↓ C H E C K (評価) ↓ A C T (改善) の継続により業務を改善する手法。

西口開発と入札問題

加増 充子 議員

問 医療モール建設を前提とした取手駅北C街区事業提案公募事業による公有用地売却の随意契約は、契約規則に反するのでは。

都市整備部長 普通財産売却事務取扱要綱に基づき随意契約で売却した。総合評価落札方式は、公有地売却の案件には該当しない。

問 自転車駐車場契約案件は、再度の公告による入札には前回までの入札参加者は除くとした契約規則を適用すべきではなかったか。

財政部次長 駐車場という目的物は同じだが、設計図書から見直しており全く別の入札案件となっている。

問 8月10日の書類には、既に自転車駐車場の出入り口部分は、市道の予定と明記されている。公募前に話し合ったということは、入札談合に抵触するのでは。

市長 C街区については、今までここを有効に使う提案がなかった。医療モールの提案を、ようやく現在の事業者に応募していただいたというのが経緯である。

都市整備部次長 自転車駐車場の実施設計に入る前に、道路の取り扱いの協議を事前に行うのは当然。

稲小通学路の 安全対策

渡部 日出雄 議員

問 取手郵便局から稲小学校に向かう通学路は、道幅が4メートル弱と狭く、大きな駐車場もあり、いつ事故が発生してもおかしくない。教育委員会の認識は。

教育部長 この通学路については、抜本的な対策が非常に難しく、スクールガード、教職員、PTAに協力をお願いし、登下校の見守りを実施している状況。国道294号線の交差点改良工事に併せて取手二中下の両側に歩道が設置されれば、通学路変更の検討も可能。

問 空き地の状態の駐車場があるが、通学路を広げるために買収する考えは。

建設部長 道路改良等の計画の中には入っていない。

問 交差点改良ができるまでは、この危険な状態は改善されないのか。

教育部長 交差点改良が完成するまで現状の所を通らざるを得ない。今まで以上に通学路の通行に対して指導を行っていきたい。また、地域、PTAの皆様方に引き続き見守り等の協力をいただきたい。通過する車等

には、安全通行の周知等を図るとともに、学校周辺の方々に協力を呼び掛けたい。

市民にとってのウエルネスと保健センター

池田 慈 議員

問 保健センター統合の大きな理由として、職員の移動時間を訪問相談などに充てるということだが、ウエルネスプラザで行う事業は、ヘルスメイト協議会と乳幼児健診のみと聞いた。移動時間は確実になくなるのか。

健康福祉部次長 移動時間を有効利用し、健康施策を推進すべきと考え、ウエルネスプラザに保健センターが集約されることに期待を注いでいる。健康施策は、今以上に推進したい。

問 訪問相談を充実させたのなら職員を増やしては。

答 18名の保健師を一極集中して、保健師がやるべき仕事をきちんと進めたい。市長 保健師は市にとって重要なプロの働き手になると思う。即戦力になる人を採用したい。

問 保健センターをウエルネスプラザに統合するが、残す2カ所の建物の運営コストの検討は。

健康福祉部長 公共施設マネジメント白書のコスト計算書では、藤代保健センターが1億5800万円、取手保健センターが3億4000万円。コストの多くは人件費が占める。その他の

部分は、ほとんど変わらないと思う。

教育振興計画(案)

鈴木 潔 議員

問 策定に当たっては、国や県の計画をそのまま踏襲するのではなく、取手ならではの計画にすることが求められている。どのような方が携わって策定したのか。

教育長 策定に当たって目的を3つ考えている。(1)教育に対する内容を分かりやすく伝える。(2)仕事についての現状と課題の再認識。(3)これまで取り組んできた教育施策の整理体系化。

また、策定に当たっては、社会教育委員会、図書館協議会、文化財保護審議会、公民館運営審議会、児童福祉協議会など、教育関係者、保護者、教職員の意見をいただいている。

問 パブリックコメントを行った結果は。

答 22人、131件のご意見をいただいた。これらの意見を十分に吟味して教育行政に生かしたい。

問 市の担当者や一部の方面で作成してきたこの計画をいったん白紙に戻し、教育関係者、保護者、地域住民、子どもたちを含め、よりよい計画を作り上げることを提案する。

答 十分に手順を踏んで策定を進めている。意見もたくさんいただいているので、策定会議でしっかり作れるよう進めたい。

入札不調後の対応は？ 自転車駐車場建設

佐藤 清 議員

問 取手駅西口の自転車駐車場建設工事が入札不調となった11月29日後の事務処理について。

財政部次長 設計図書を見直し、12月26日に告示、1月30日に開札、契約した。

問 入札が不調になった原因は、設計金額のチェックが甘かったという話である。設計業者の成果品は適正だと判断するか。

都市整備部長 図書と内容がそろっていたので、完了検査は合格を出した。

問 適正なら、不調の原因の個別的なことは。

答 (1)東日本の復興事業による資材価格の高騰(2)入札に参加した見積価格と設計価格に開きがあったこと(3)設計図書の仕様が特殊な部材を使うとらえ方を建設会社が行ったこと。



建設工事中の自転車駐車場(手前)

また、現地が非常に狭く、交通量も非常に激しいため安全対策に開きがあった。

問 不調の原因はそれだけではないと思う。検証はしているのか。

公共施設整備課長 設計事務所と入札参加者の聞き取り調査を行い、原因の追求を行った。それに基づき補正をし、再度公告して入札を行った。

藤代駅北口整備

赤羽 直一 議員

問 藤代駅北口整備について、25年度の計画はどのようになっているか。

都市整備部長 昨年11月に開通した中内大塚線のオーバブリッジの車両動線の経過等を見極めながら、周辺の市道、県道など既存の道路も含めた中での整備方法を全庁的に検討したい。

事業に当たっては、竜ヶ崎工事事務所、地域の皆様と一緒に整備方法を設ける検討をしたい。

問 合併両市の不均衡は是正、つながりを密接にする



藤代駅北口周辺

ために使うのが合併特例債の趣旨。藤代駅北口整備にこそ、合併特例債を使うべきではないか。

市長 部長答弁のとおり、整備方法の検討は進めたい。合併特例債は、合併を視野に入れた事業に主に充てられるべきというのはそのとおり。そういうことを踏まえて取り組んでいきたい。

問 都市計画についてはどう考えるのか。

都市整備部長 実現の難しいものは変更の必要があるが、ここは計画のまま実行できればと考えている。

交通弱者への対策を！

遠山智恵子 議員

問 地域経済の衰退、少子化が進む中、路線バスの廃止、縮小により地域住民の足の確保、とりわけ高齢者などの交通弱者に深刻な影

響を与えていることは、当市も例外ではない。双葉の方からも切実な要望が出ているが、考えは。

都市整備部長 双葉団地は、3月をもって関東鉄道バスが廃止になる。コミュニティバスは、双葉団地の東北部ルートを昨年8月に2便増やし、1日8便に変更した。また、双葉団地から6号に向かう道路整備の中で、歩道の整備も考えている。

問 市の方針を明確化させる意味で交通計画、あるいは地域公共交通総合連携計画の策定に取り組む必要がある。既に公共交通会議が設置されているが、NPOなどの参加も含めた協議会の立ち上げを提起したい。

都市計画課長 いかなる公共交通施策を講じることが地域の实情に合致するか、他市の事例等も十分に調査、研究、分析して、市の特性に合った利便性の高い公共交通政策を検討したい。また、協議会についても他市の例を参考に検討したい。

次の定例会は、
6月7日(金曜日)
開会の予定です。

平成 25 年第 1 回臨時会・第 1 回定例会の議決結果

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「不」は離席など採決時不在、「除」は除斥による退席を表します。

議長（倉持光男議員）は、可否同数のとき又は特別多数議決のとき以外は表決に加わりません。

議案・請願・陳情の採決は、1 件ごとに行っています。

種別	件名	議決結果	賛否数	会派名、議員名及び賛否の別																									
				創世クラブ					はやぶさ					公明党			日本共産党			民	志	彰	と	み					
				賛	反	石	川	山	小	吉	入	佐	倉	渡	金	中	佐	赤	落	染	阿	齋	関	鈴	遠	加	平	結	飯
市長提出	(仮称) 取手駅西口自転車駐車場新築工事請負契約の締結	原案可決	16	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	職員給与に関する条例の一部改正	原案可決	21	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	職員等の旅費の特例に関する条例の一部改正	原案可決	21	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	茨城消防救急無線・指令センター運営協議会の設置	原案可決	21	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成 24 年度取手駅西口都市整備事業特別会計補正	原案可決	21	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成 24 年度競輪事業特別会計補正	原案可決	21	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成 25 年度一般会計	原案可決	21	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成 25 年度取手駅西口都市整備事業特別会計	原案可決	18	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成 25 年度用地先行取得事業特別会計	原案可決	19	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成 25 年度国民健康保険事業特別会計	原案可決	21	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成 25 年度後期高齢者医療特別会計	原案可決	21	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成 25 年度介護保険特別会計	原案可決	21	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成 25 年度介護サービス特別会計	原案可決	21	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成 25 年度競輪事業特別会計	原案可決	21	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育委員の選任同意 (幸田隆男氏)	原案可決	20	4	○	○	○	○	○	○	○	○	不	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員の選任同意 (矢作進氏)	原案可決	20	4	○	○	○	○	○	○	○	○	不	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
監査委員の選任同意 (片桐弘勝氏)	原案可決	21	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出	中小企業の再生・活性化策の充実・強化を求める意見書	原案可決	21	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	T P P 交渉参加の中止を求める意見書	否決	8	17	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	
請願・陳情	生活保護基準の引き下げに反対し、意見書提出を求める請願書	不採択	6	19	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	
	バリアフリーに関する陳情	不採択	7	18	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	
	取手西口駅前市道整備に関する陳情	採択	25	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	取手市政倫理条例改正を求める陳情書	不採択	0	25	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

会派名：彰考会＝彰考会@取手、とりで生活者＝とりで生活者ネットワーク

*小嶋吉浩議員は、3月27日付で会派「日本維新の会」所属となりました。

以下の議案は、全員賛成で原案可決と決しました。

○市長提出議案

(条例) 新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例、指定地域密着型サービスの事業の人員・設備・運営に関する基準を定める条例、指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員・設備・運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例、新型インフルエンザ等対策本部条例、市道の構造の技術的基準等を定める条例、移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例、移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例、都市下水路管理条例、職員の勤務時間・休暇等に関する条例の一部改正、特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正、教育相談センターの設置・管理に関する条例の一部改正、ぬくもり医療支援事業に関する条例の一部改正、ペット霊園の設置等に関する条例の一部改正、中小企業事業資金融資あつ旋条例の一部改正、市営住宅条例の一部改正、都市公園条例の一部改正

(予算) 平成 24 年度一般会計補正 (第 9 号・第 10 号)、平成 24 年度国民健康保険事業特別会計補正、平成 24 年度介護保険事業特別会計補正、平成 24 年度介護サービス特別会計補正、平成 25 年度取手地方公平委員会特別会計

(その他) 常総地方広域市町村圏事務組合規約の変更、市道路線の認定・変更、人権擁護委員の推薦 (成松文字子氏)

○議員提出議案

(条例) 議会政務調査費交付条例の一部改正、取手市議会の議決すべき事件に関する条例

(意見書) ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書、配合飼料の価格高騰対策を求める意見書

(決議) 北朝鮮による核実験強行に抗議する決議